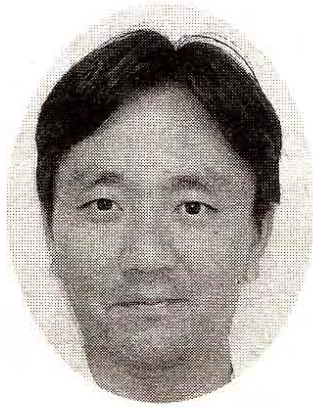


地域医療の現場から

「手や足が痛い」「膝や肘が痛い」という症状で外来受診される方は多いと思います。たいていは日常生活や仕事で使すぎて負担がかかっている状態で、放っておいてもじきに良くなったりすることも多いのですが、中には進行してしまう病気があります。



セコメディック病院
整形外科・リウマチ科

30歳〜50歳の女性に多く発症する病気ですが、10〜20代の若い方、80代の高齢の方が発症することもあります。原因はまだはっきりしませんが、なりやすい体質(遺伝子)と、環境因子(ストレスや喫煙など)がからみあって発症するといわれています。

進歩するリウマチ治療

診断は診察、レントゲン、血液検査と総合的に判断します。関節リウマチは早期からしっかりと治療しなければなりません。リウマチが進行するのは発症して初期のことが多く、関節が壊れてしまった

ら元には戻らなくなるので、壊れる前に抑えていく治療が大事です。治療は薬物療法が基本です。リウマチは免疫に関与する病気なので、代表的にはいわゆる抗ガン剤が用いられます。ガン治療とは異なり、リウマ

チの場合は週に1〜2日だけ飲む方法なので、個人差はありますが一般的にいわれる副作用はほとんど出ません。また、抗ガン剤を中心に他の抗リウマチ剤を組み合わせたり、点滴や注射を併用したりしてコントロールしていきます。日本だけで

はなく、世界的な潮流です。21世紀に入ってから、リウマチ治療は飛躍的な進歩を遂げました。以前は「寝たきりにさせないこと」が目標でしたが、現在は適切な治療により通常の社会生活を可能にし、将来にわたって生活の質(QOL)を良い状態に保つことを目標にしています。心配するような症状があれば、早めにリウマチ医の診察を受けることをお勧めします。

山崎 純司

医療講演会

「関節リウマチについて」

6月23日(木) 14時 / イオン千葉ニュータウン /
講師：山崎純司医師 / 無料 / 要予約 / Tel 457-9900